

鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）（案）に係るパブリックコメント実施結果

鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）（案）を公表し、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見を頂きました。寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

【パブリックコメント手続実施結果】

1 案件名

鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）（案）

2 募集期間

令和6年2月2日（金）から令和6年3月2日（土）まで

3 募集方法

市ホームページ、市政情報コーナー、総合保健福祉会館等において「鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第9期）（案）」を公表し、意見を募集しました。

4 意見の提出件数

6件（意見提出者2人）

5 意見の概要と市の考え方

項目(計画書の頁)	意見の内容	市の考え方
16 ページ <自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいか >	自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいか。「わからない。何とも言えない」が23.6%とありますが、介護保険のサービスや、どういう施設があるのか、鴨川市内では何が利用できるかなど、情報の提供があまりないように思います。 高齢者や家族が介護が必要になったときに、どうするか、ど	市では、福祉総合相談センターを市内4か所に設置して「介護で困っている」、「介護を受けたい」、「サービスを利用したい」など介護、福祉等分野を問わず相談を受けております。 設置場所は、鴨川市総合保健福祉会館、（ふれあいセンター）（八色 887-1）、天津小湊保健福祉センター（天津 163-1）、鴨川

	<p>うしたいか、あらかじめ話し合いが出来る環境整備、知ってもらう機会などを作るなどの努力が必要だと思います。</p> <p>以前、知人から親が介護認定は受けたいけど、ケアマネさんはどこで頼むのと聞かれたことがありました。行政の方は、広報しているつもりでも、まだ十分介護保険や福祉サービスについて知られていないと思います。</p>	<p>市立国保病院包括ケアセンター内（宮山 233）、江見出張所（東江見 376-5）にございます。</p> <p>また、市のホームページでも介護保険制度や各種サービスについてご説明しております。検索しやすいよう工夫すると共に、介護保険や福祉、子育ての相談はふれあいセンターに相談していただけるよう今まで以上に周知して参ります。</p> <p>また、広報誌への掲載、LINE 等の活用のほか、地区の要望があれば、出前教室を実施していきます。</p>
<p>17 ページ</p> <p>(5) 今後の施策について</p>	<p>在宅介護をするには、24 時間対応の在宅医療の充実、24 時間対応の在宅サービスの強化、とても重要なので、優先して実現して欲しいです。</p>	<p>今後、市が優先すべき施策について、一般高齢者を対象にアンケート調査を実施しており、「運転免許返納者への外出支援」が 50.2%、「一人暮らしや高齢世帯などへの地域の見守りなどの充実」が 38.4%となっております。</p> <p>一方で、今回、ご指摘いただきましたとおり、今後、複数の疾病や認知症などで、医療と介護を必要とする高齢者の増加が見込まれます。これは、医療・介護の「85 歳問題」と言われております。こうした高齢者を地域で支えていくためには、訪問診療、訪問看護などの在宅医療に加え、定期巡回・随時対応型訪問介護看護など 24 時間対応の介護サービスの充実が必要です。</p> <p>市ではこれまでも医療と介護の専門職による多職種連携により地域全体で支えるための取組を行っておりますので、今後も、医療・介護人材の確保を図りながら、支援体制の強化を図って参ります。</p>
<p>40 ページ</p>	<p>各種健診は、発症予防と重症化予防に大事だと思います。</p>	<p>市町村の国民健康保険加入者に対する特定健診につきまし</p>

<p>①生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底</p>	<p>指標の特定健診受診率(%)、R4年度が26.0%で、R5年度見込値60.0%になるとは思えません。なぜ、受診しないかを調査する必要があると思います。</p>	<p>ては、高齢者医療確保法に基づき、国が実施方法や目標となる受診率など、基本的な事項(特定健康診査等基本方針)を定め、その方針に則り市町村において実施しております。</p> <p>受診に関する調査につきましては、特定健診受診率向上事業として、人工知能(AI)を用いて対象者の年代、性別や医療機関の受診歴、特定健診の結果データ等の集積と分析を行い、対象者の受診確率、健康意識等を可視化し、特性に合わせた受診勧奨に繋げております。</p> <p>今後も受診率の向上に関する取組として、検診対象者への全数通知による周知をはじめ、人工知能(AI)を活用した受診勧奨案内の郵送、インターネット・電話での予約制の導入、休日検診やがん検診等との同日実施など受診しやすい体制の整備に努めて参ります。</p> <p>また、自己負担額の負担軽減につきましては、健康ポイント事業と連携した検診無料券の配布や、40歳の無料検診の周知を行い受診率の向上を図って参ります。</p>
<p>49 ページ ①認知症サポーターの養成講座の推進</p>	<p>49 ページ①認知症サポーターの養成講座の推進で、チームオレンジの創設を検討とありますが、「鴨川市精神障害者家族会(オレンジ会)」と関係がありますか。</p> <p>もしも関係ないのであれば、まぎらわしいので、名称を検討した方が良くと思います。認知症サポーターの活躍を期待しています。</p>	<p>認知症サポーターの養成は平成17年度からスタートし、「認知症の人を応援します」という意思を示すオレンジリング(リストバンド)等が渡されます。</p> <p>ご指摘の「チームオレンジ」は「鴨川市精神障害者家族会(オレンジ会)」とは無関係です。</p> <p>チームオレンジは、国が示しているとおり、地域で暮らす認知症の人や家族の生活支援を行う認知症サポーターのチームのことで、認知症の人にもメンバーとして参加し、認知症サポ</p>

		<p>ターが活躍する場として期待されています。</p> <p>認知症カフェをオレンジカフェと呼ぶなど、オレンジ色は認知症支援のシンボルカラーとして定着しております。その他、児童虐待防止のシンボルマークやひきこもり支援でも使われていますので、支援対象を区別しながら、オレンジ色を使用して参ります。</p>
49～51 ページ (3) 認知症対策の推進	<p>「今年1月に施行された認知症基本法は自治体が、認知症当事者の意見を聞くことを努力義務としている。」と新聞で読みましたが、当事者の意見を聞く事はとても大切なことなので、鴨川市でも取り組み実行して欲しいです。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。</p> <p>共生社会の実現を推進するための認知症基本法は、本年1月1日に施行された認知症に関する総合的な対応をまとめた法律です。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができるよう7つの基本理念があります。国には、基本理念に則り基本計画策定を義務づけ、市町村は、認知症の本人と家族の意見を伺いながら支援計画を策定することが努力義務となっております。</p> <p>今後、当事者のご意見を伺いながら、支援計画の策定に向け、対応して参ります。</p>
計画全体	<p>高齢者へのコミュニティ構築案として、行政の支出を削減するため、民間を活用とした福祉の需要に対応し、利用者の満足度の向上を目指す。</p> <p>また、鴨川市が注力すべきは、経済対策である。企業誘致や観光振興、鴨川産の高付加価値販売などにより、若い従業員を転入させ、子育て支援施策を充実させる。主力の経済政策に予算を分配すべきであり、余分な福祉施策は停止すべきである。</p>	<p>本市を含め、国全体が人口減少が見込まれます。若い方の働きやすい環境、子育てしやすい地域づくりが重要であると認識しております。人口減少の中、75歳以上の占める割合が高まりますので、医療、介護、予防、生活支援、住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの更なる推進が重要です。企業誘致や観光振興等を含め、本市の将来を見据えた対応をして参ります。</p>